

環境にやさしい農業推進方針

～「生命」を守り「未来」を育む 環境にやさしい喜多方市の農業～



平成 1 8 年 1 1 月 制定

令和 6 年 4 月 最終改正

喜 多 方 市

目 次

第 1	目 的		2
第 2	基本テーマ		2
第 3	基本方針（3つの柱）		3
第 4	現状及び課題、推進方策について		4
第 5	推進体制		5
第 6	取組目標		6
第 7	その他		6

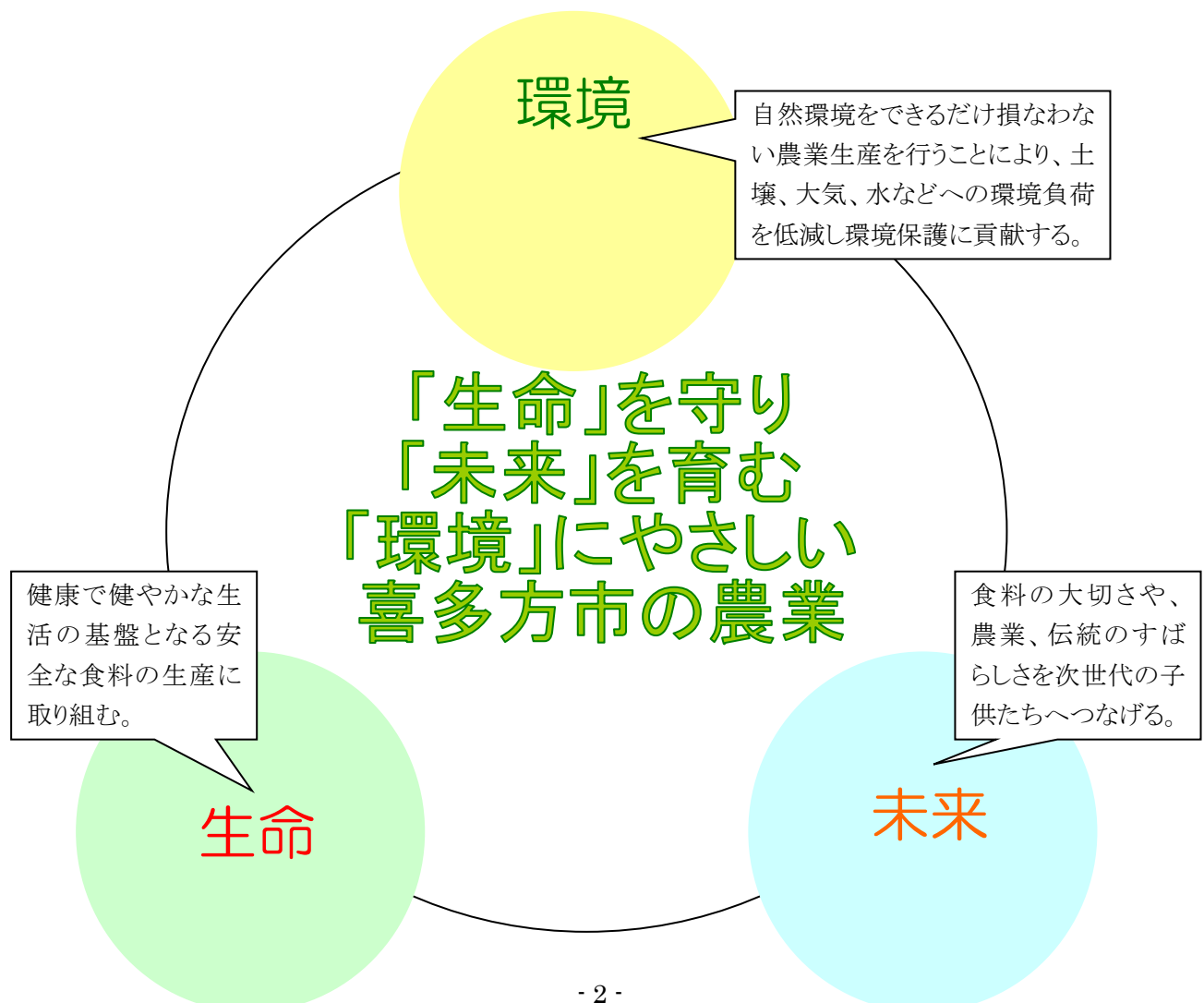
第 1 目 的

農業は、食料を生産する活動を自然の循環の中で行う産業であり、環境と調和することなしには生産活動を長期的に持続することは困難である。本市農業が将来にわたってその役割を果し、また、社会全体の持続的な発展に貢献していくためには、農業生産と自然環境の調和のための基本的な取組みを着実に実行し、将来へ継承されていくことが必要である。

併せて、本市には持続的な農業の営みを通じて、多様な野生動植物が生息する生物多様性が豊かな空間が存在しており、今後とも市民に安全で良質な食料や、生物多様性が豊かな自然環境を提供できるよう、生物多様性保全をより重視した農業生産や、田園地域・里地里山の保全等を推進する必要がある。

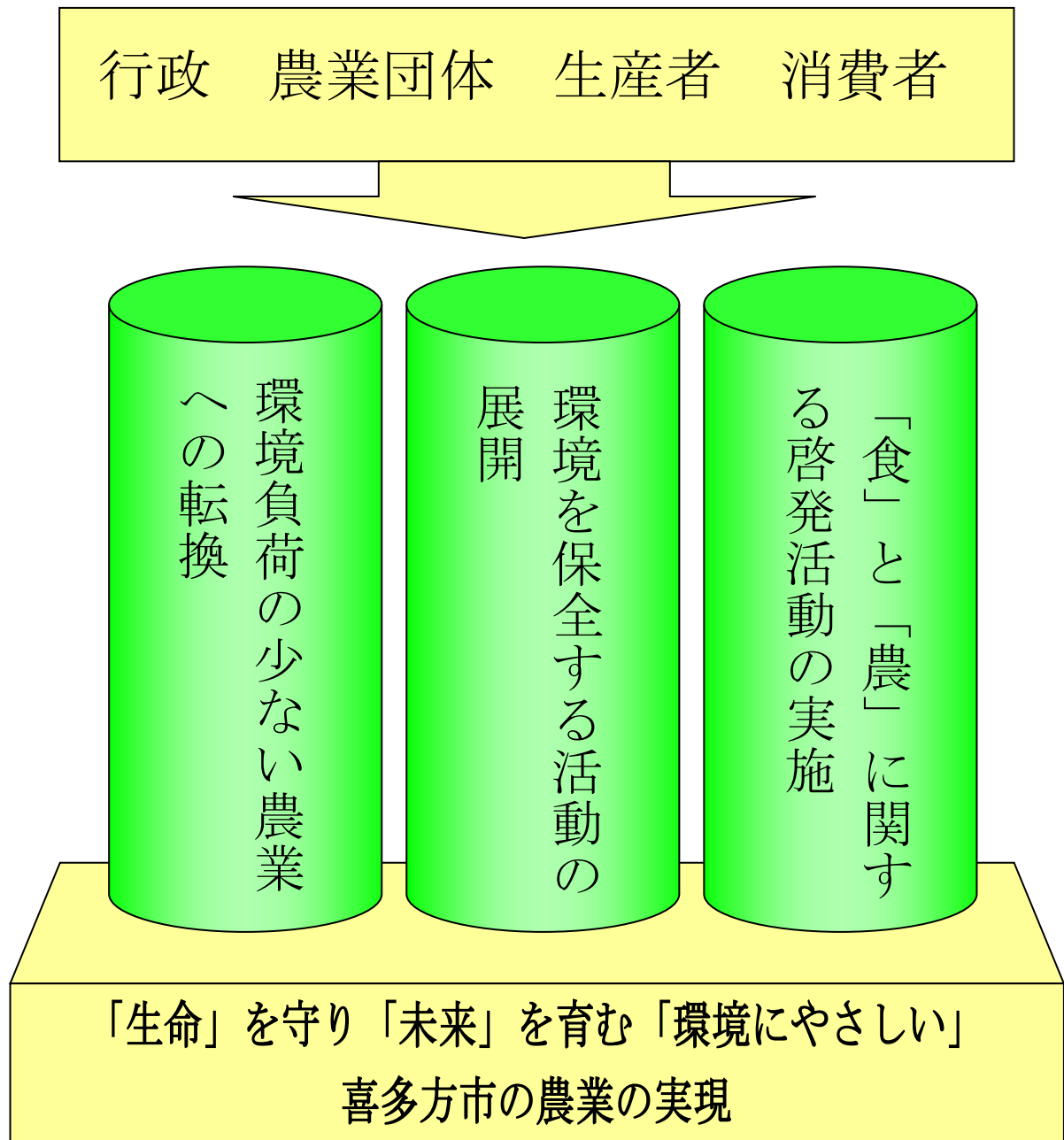
このため、できる限り環境負荷の少ない農業への転換、良好な農地・水環境の維持・改善等を図り、また、啓発活動を通じて消費者等との関わりを深めながら、本市の自然立地条件に即した「環境にやさしい農業」を推進する。

第 2 基本テーマ



第3 基本方針（3つの柱）

目的を達成するため、それぞれの主体が以下の3つの項目を実践する。



第4 現状及び課題、推進方策について

各柱の課題を解決するため、以下の取組み方針により行政、農業団体、生産者、消費者等が一体となって実践する。

基本方針	現状と課題	推進方策
環境負荷の少ない農業への転換	化学肥料や化学合成農薬に大きく依存した生産体制により、省力化や安定生産が可能となった反面、環境負荷への影響が大きくなってきている。 また、化学肥料等による化学物質が及ぼす、健康や生態系への影響が危ぶまれている。	1 特別栽培、有機栽培の推進 2 みどり認定に向けた取組みの推進 3 適正な農薬の使用や施肥に基づく土づくりの推進 4 耕畜連携による生産体制の推進 5 農業用使用済資材のリサイクルの徹底
環境を保全する活動の展開	農村においては、過疎化・高齢化等の進展により農業生産活動の停滞や集落機能の低下が見られ、農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が困難となっている。 また、環境保全型農業を推進することにより、良好な水環境の維持・改善を図っていくことが重要な課題となっている。	1 ほ場からの環境負荷の流出を抑制する取組 2 有機性資源の循環利用の促進を通じた環境負荷の低減に資する取組 3 化学肥料や化学合成農薬の使用の低減を通じて環境負荷の低減に資する取組 4 生き物と共生する農業生産の推進を行うため、生物多様性に効果の高い営農活動の導入

「食」と「農」に関する啓発活動等の実施	消費者は、地域の農業や生産された農産物について身近な問題として考える機会が少ない。 また、食料の安全性に対する消費者の関心が高まる中で、消費者ニーズに対応した良質な農産物の供給が課題となっている。	1 グリーンツーリズムの推進 2 地産地消の推進 3 農業まつり等の開催 4 ホームページやポスター、広報等による啓発活動の推進
---------------------	--	--

※推進方策を実現するための具体的な技術としては、以下のとおり。

浅水代かきの実施、無代かき栽培の実施、不耕起栽培の実施、カバークロップの作付け、あぜ塗りの実施（あぜシートの活用）、たい肥の施用、稲わらのすき込み、緑肥の作付け、すき込み、肥効調節型肥料の施用、肥料の局所施用、有機質肥料の利用、土壌診断に基づく施肥、機械除草、除草用動物の利用、生物農薬の利用、対抗植物の利用、被覆栽培の実施、フェロモンの利用、マルチの利用、光利用技術の利用、抵抗性品種・台木の利用、熱利用土壌消毒技術の利用、温湯種子消毒技術の利用、ほ場周辺の除草の徹底、リサイクルプラスチックの利用、生分解性プラスチックの利用、炭の投入、冬期湛水管理の実施
--

第5 推進体制

環境保全型農業の普及・啓蒙・定着を図るため、以下の構成による喜多方市環境にやさしい農業推進協議会を設置し、推進する。

- ・生産者、消費者等、学識経験者、農業関係団体（JA等）、行政

第6 取組目標

基本方針のうち主な推進方策について、実践項目と目標年次における具体的な数値目標を定める。

項 目	現状 (R5)	目標 (R10)	備 考
環境保全型農業直接支払交付金取組面積	939ha	1,000ha	(参考：2020 農林業センサスより) 喜多方市の経営耕地面積 総数：7,504 ha 田：6,675 ha 畑： 768 ha 果樹： 26 ha 牧草： 35 ha
有機農業取組面積	46ha	51ha	

第7 その他

本方針は、環境にやさしい農業の基本的な取組みをまとめたものであることから、環境にやさしい農業の進捗状況に応じ、その内容を適宜見直すものとする。